

● 歯学部運動会を終えて ●

運動会実行委員長 歯学科5年 今井千尋

令和という新しい年号が発表された4月、歯学部運動会にも新たな風を吹かせようと、運営5年生は立ち上がりました。歯学部生らしい運動会とはどのようなものなのか、考えに考えた結果…そうだ歯牙模型を使おう！という結論に至りました。例年、1番盛り上がる種目といっても過言ではない障害物・借り物リレーの内容を、「歯の鑑別」や「白衣に着替え、手袋装着」などに一部変更し、借り物のお題自体も歯科らしさを加えたものにしました。

運動会当日は、お日様に恵まれ最高の運動会日和となりました。開会式では、バドミントン部の後輩達が、キレのあるダンスを披露してくれました。バドミントン部は、今年初めて運動会主幹部活となったので、後輩たちに負担をかけてしまったと思いますが、ダンスのクオリティーの高さには本当に驚かされました。素敵な運動会の始まりを作ってくれたバドミントン部の後輩たちに感謝したいと思います。

競技に入り、始まる前はどうなるか不安であった障害物・借り物リレーも、多きなトラブルなし

に行うことができました。白衣を身にまとい、手には手袋をつけてゴールへと走ってくる走者の人たちはとても輝いていたと思います。また今年の運動会は、新しい種目内容を取り入れただけでなく復活させた種目もありました。現5年生が2年生だった時、記憶に残る負け方をした「綱引き」です。5年生同士で綱引きのコツを伝授しあった成果が実り、1位にはなれませんでした。みごと素晴らしい結果をおさめることができました。私は運営テントの中から応援していたのですが、一生懸命綱を引っ張るクラスメイトたちの勇敢な姿に、思わず涙が出ました。

私の運動会での一番の思い出は、今まで運動ができない学年として表彰されることがなかった5年生が総合優勝を果たしたことです。普段から何事にも一生懸命に取り組み、運動会運営を頑張った5年生に起こった奇跡的な出来事だったと思います。

最後に、参加してくださった先生方、学生の皆さんありがとうございました。来年もさらに素敵な運動会になることを期待しています。

